

事業所職員向け

児童発達支援・放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和7年3月31日

事業所名：療養デイ思いやりキッズ

職員数：9名 回収数：9枚 回収率：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3	1		やや狭いと感じる。利用児が定員に達するとバギーや座位保持椅子で場所を取ってしまう為、十分なスペースがあるとは言えません。児童が安全にリハビリや支援を受けられるよう空間の確保と活動内容の工夫を行っていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	3	1		離職者の補充が来ていない。国の人員配置基準は満たしていますが、ケアが重なってしまうと職員への負担が大きくなるため、引き続き人員の確保を行うとともにお互いに声掛けし安全に支援が実施できるよう努めていきます。
	3	事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	1		トイレへの移動、移乗に関して改善が必要。構造上完全なバリアフリー化は難しいのが現状です。職員2名で対応し安全への配慮を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2			感染予防のため、毎日、清掃、消毒を行い清潔な環境を心がけています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	4		1	定期的にミーティングを実施し、現状把握、課題の共有に努めています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1			いただいたご意見はスタッフ間で共有し、可能な限り改善できるよう引き続き努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	3		2	ホームページで公開しております。公開していることを速やかにお知らせいたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	1	3	現時点では利用者と社内の評価のみとなっておりますが、第三者評価については今後の検討課題としていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1			研修委員会を中心に法人全体で毎月を開催しています。今後は外部研修への参加も実施し、職員それぞれの資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画、放課後等デイサービス支援計画を作成しているか	7	2			本人、ご家族のニーズに基づき個別支援計画案を作成し、職員全員でカンファレンスを行い個別支援計画を作成しています。今後も保護者のニーズや課題を客観的に捉え、個別支援計画に反映させていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3		3	送迎時の保護者からの情報や利用時、適応行動の状況を確認しスタッフ間で情報共有していきます。
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか	7	1		1	
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		1	各職種の視点で意見を出し合い、児童の状況に合わせた関りができるよう話し合っていきます。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	3		1	季節の活動を取り入れたり、発達段階に応じたプログラムを立案し固定化しないよう努めていきます。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7	2			一人ひとりの発達状況に応じ、また個々のニーズを踏まえて個別支援計画の作成と支援に努めていきます。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9				毎朝、ミーティングを実施し、当日の利用児の状況、注意点、支援内容や役割分担を確認しています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4		1	支援中でも速やかに共有しなければならない事項に関しては、お互いに声掛けし共有するようにしています。振り返りは翌朝実施することもあります。
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1			各利用児の支援記録用紙への記載と個別の送りノートへの記載を徹底し次の支援に繋げられるように努めています。
	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1			6か月に1回のモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。
	20	サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	2			児童発達責任者や管理者、担当者など適任者を選んで出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画、行事予定、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応等）を適切に行っているか	8	1			保護者からの情報や学校見学会などの機会を利用し情報を得ています。また送迎など変更があった場合は直接学校へ連絡するようにしています。
	22	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	2			訪問看護師や相談支援員などへの状況報告を行い、必要時、臨時で訪問看護を依頼するなど連携した支援を行っています。また必要時は主治医へ連絡を行い、児童の情報共有に努めています。

関係機関や保護者との連携	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	8	1			利用児の状態によっては、主治医へ連絡し、薬や栄養の調整などについて相談を行っています。また、訪問看護を依頼し往診へ繋げてもらうなど連携を取っています。
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1			
	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	2			小学部へ入学する前、支援学校の先生と話し合いの時間を設け、入学後の支援がスムーズに行えるよう情報共有を行っています。
	26	他の児童発達支援センターや放課後等デイサービス、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1			重心児通所連絡会が発足後、積極的に参加しています。様々な問題点、課題点について共有し助言を受けています。また研修会への参加もできています。今後も積極的に関り、連携していきます。
	27	保育所や幼稚園、放課後児童クラブ等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	1			今年度は、地域の小学生、中学生を事業所へ招待し児童と一緒に活動する機会を設けました。お互いが良い刺激となり貴重な時間を共有することができました。今後も継続していきます。
	28	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	2		2	重心児通所連絡会へ今後も積極的に参加していきたいと思います。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9				自宅での様子は、送迎時に保護者に確認を行っています。また利用時の様子や気づいた点はお迎え時に報告し共有するようにしています。今後も些細な点も気づいてことは共有するようにしていきます。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2	3		個別的なプログラムは実践できていませんが、保護者会を通して同じ悩みや不安に思っていることなど情報交換の場の提供は行っています。
保護者への説明責任等	31	支援内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				契約時に説明し了承いただいています。利用者負担が変更になった場合はその都度お知らせしています。
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9				送迎時など相談事はお聞きしていますが、2回/年の個人面談を実施していきます。また状況により臨時の面談も行い適切に対応いたします。
	33	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2			今年度は、保護者会を開催し保護者同士の交流も図れましたが、今後は2回/年開催できるよう努めてまいります。
	34	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1			相談などがあった場合は、速やかに対応するように心がけています。引き続き迅速に対応できるよう相談支援体制の周知を図っていきます。
	35	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1			毎月、お便り「チューリップだより」にて活動報告は行っていますが、活動内容がより分かりやすいようホームページを定期的に更新するなど工夫していきたいと思っています。
	36	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9				氏名、顔写真などの使用に際しても同意をいただいた方のみ使用させていただくようにしています。また個人情報が記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管しています。
	37	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				行動や言葉と身振りなど、それぞれの児童の意思表出の仕方を職員間で理解、共有し伝達方法に配慮しています。
	38	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	4		今後の検討課題としていきます。
非常時等の対応	39	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	1			マニュアル等を職員間で共有し、保護者の方にも周知していただけるようマニュアルの設置場所など保護者会で説明しています。安全計画の中で研修や訓練を計画し実施していきます。
	40	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				BCPIに沿った研修、訓練を実施しています。BCPIについての周知徹底を図り、避難手順や経路確認を行っています。保護者との連絡訓練も実施できるよう努めていきます。
	41	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9				利用開始前に確認させていただいています。不明な点は、都度確認するようにしています。また内服など変更があった場合はお薬手帳のコピーをいただいています。必要時、指示書の依頼も行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1			利用開始前に確認させていただいています。食事の提供を希望される場合は提供開始前に再度書類にて確認とサインをいただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				事象発生時は、速やかに報告書を作成し、事業所内で対策を話し合い再発防止に努めています。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9				年間の研修スケジュールに組み入れ、全員が研修を受けるようにしています。カメラの設置も行っています。
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	7	2			原則、身体拘束は行っていません。児童の安全確保のため、やむを得ず必要となった場合は、保護者の方を含め十分検討し、了承いただいた上で実施いたします。身体拘束に関する書類の説明後、同意のサインをいただいています。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和7年3月31日

事業所名：療養デイ思いやりキッズ

保護者等数(児童数)：2名 回収数：2枚 回収率：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					利用児が定員に達するとやや狭く感じるかと思えます。安全面を考慮し空間の確保と活動内容の工夫を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	2					おっしゃる通りかと思えます。しかし構造上の問題もあり児童全員のオムツ交換をトイレで行うことは困難な状況です。オムツ交換の部屋を作るよう今一度事業所全体のレイアウトを検討したいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	2					
	6 個別支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2					
	8 保育所や小学校との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2					
保護者への説明等	9 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	10 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2					
	11 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					
	12 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2					
	13 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2					
	14 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					
	15 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			1		
	16 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	1			1		
非常時等の対応	17 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	1			1		
	18 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			1		
満足度	20 子どもは通所を楽しみにしているか	2					
	21 事業所の支援に満足しているか	2					

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和7年3月31日

事業所名：療養デイ思いやりキッズ

保護者等数(児童数)：11名 回収数：11枚 回収率：100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9		1	1	バギーや座位保持、荷物が置いてあるとスペースが十分なのかは送迎時だけではわからない。	利用児が定員に達するとやや狭く感じるかと思えます。安全面を考慮し空間の確保と活動内容の工夫を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10	1			オムツ交換はトイレ内で行うとなお清潔が保たれると思う。	おっしゃる通りかと思えます。しかし構造上の問題もあり児童全員のオムツ交換をトイレで行うことは困難な状況です。オムツ交換の部屋を作るよう今一度事業所全体のレイアウトを検討したいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9	2				
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	11					
	6 個別支援計画に沿った支援が行われているか	11					
	7 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	9			2		
	8 保育所や小学校との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9			2		
保護者 への 説明等	9 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					
	10 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていくか	11					
	11 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11					
	12 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	1		1		
	13 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	11					
	14 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10			1		
	15 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	10	1				
	16 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11					
非常時 等の 対応	17 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	10			1		
	18 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			1		
満足度	20 子どもは通所を楽しみにしているか	11					
	21 事業所の支援に満足しているか	11					

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。